

# てん刻の作り方（転写方法と彫り方）

## ①ポスカを使って図案転写

どこにでも売っている水性ペン「ポスカ」を使用したてん刻図案転写法です。ポスカインク自体に鉛筆の線を吸い付かせる力があるので、石の色を選ばず修正などもしやすいためすぐにてん刻の彫り作業に移行できます。



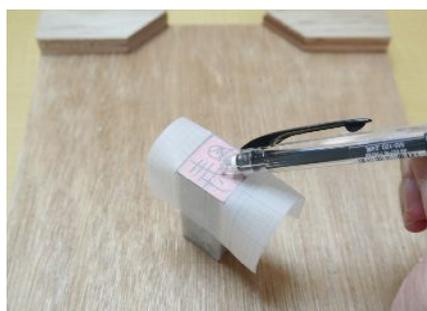
①紙やすりで印面を平らにしつつ表面のザラつきを均します。



②均した印面にポスカを塗り乾かします。（オレンジがオススメ）



③トレペに鉛筆で図案を描きます。逆文字でなくてOKです。



④印面に図案を描いたトレペを乗せ、爪などでこすります。



⑤この時点でかなりはっきりと写ります。



⑥線を修正したい場合はそのまま直接鉛筆で書き足します。

## ②てん刻刀を使って印面を彫る

石は適度な柔らかさなので、思ったより彫りづらくありません。また、刀を持った手だけで彫ろうとすると運刀が安定しないため、反対側の手の親指で刃の背中を押すような感じで彫ると、力も入り彫りやすくなります。



①てん刻プラバイスに印材を挟み左手で石を包むように抑えます。この時左手の親指は刃の背中に第一関節あたりを石に固定する。



②右手には力を入れないようにし極力左手の親指で押して彫りましょう。右手の薬指、小指も石に固定して彫ると安定します。



③刃を寝かせすぎると印面に食い込むので、左の画像くらいの角度で刃を立てて彫ります。刃渡りで刻むイメージ。